

I 2012 年度活動報告

1. 平成 24 年度夏季 教員免許状更新講習1・2

講習1「教材の開発 —その基盤となる考え方と工夫—」

平成 24 年 8 月 6 日（月）

- ・教材開発に役立つジャンルの考え方
- ・教材開発の方法—教材を見る視点、使う視点、開発する工夫—

講習2「体験型ワークショップ・クリニック：音声で拓く英語の指導のために」

平成 24 年 8 月 7 日（火）

- ・「発音の向上と発音指導の方法」
- ・「英語リスニングのクリニック」
- ・「音読パフォーマンス」

1.1 本学教員免許状更新講習受講希望理由（事前アンケートより）

A. この講習の受講を希望した理由はなんですか。

- ・日頃の自己流授業を見直せる機会をいただけそうだと思います。
- ・講座の内容が意味のあるものだったので、希望しました。
- ・実際の授業に活用できそうだから。
- ・専門教科で教材開発や発音、聞き取り、音読に関する実践向きの内容であり、今後の指導にとっても役に立つと感じたから。
- ・講習1については”教材の開発”という視点に興味を持ったため。
講習2については、自分自身の発音を向上させたいためと、リスニングや音読の指導法を学びたかったから。
- ・昨年同僚が受講されて良かったとお聞きしたので希望しました。
- ・大阪女学院で実践されている英語教育に興味、関心があり、この講習でその持つノウハウを吸収できるのではないかと期待して受講を希望した。
- ・講習の内容にとっても興味を持ちましたので受講を希望します。
- ・日頃の授業で活用できる教材を学べると考えたから。
- ・自身の授業に活用したいから。また、音声による指導に興味を持っているから。
- ・自らの授業を振り返り、より興味深く、生徒たちに実用的な英語を向上させるような授業を展開できるようになりたいと思います。
- ・教材の開発—現在まで、ほとんど我流で教材の準備をしているので新しいアイデアなどを学びたい。
体験型—近年、フォニックスを含めた音声指導をするようになってきたが、効果的な指導法を学びたいと思ったため。
- ・本校でも音読を重視し、授業ではさまざまな音読で1時間まるまる使うこともある。講習2でさらに指導のバリエーションを広げたいと思い希望した。
- ・長い間、教材研究を良い授業をするための準備と捉えてきた。ところが近年良い授業よりも生徒にいかにか勉強させるか（とりわけ家庭で）が大切だと考えるようになってきた。講習1の「教材を見る視点」と「教材を使う視点」は大変示唆に富むと思った。
講習2については、本校でも音読を重視しているので、指導にバリエーションを増したいと思い希望した。
- ・教員免許状更新のためです。また、前々から大阪女学院大学の講習は受けてみたいと思っていたので。
- ・魅力ある授業を展開するにあたり、教材作りはとても大切であると考えたため。
- ・普段の授業において、音読指導に力を入れているため。
- ・より良い、より楽しい授業を今後していきたいため。
- ・教材開発、選定や音声指導について日頃から興味があり、また大阪女学院大学の英語教育のレベルの高さを直に体験したいと思ったからです。
- ・講習を受けた人の感想や講座の内容を読み、興味深き思い希望しました。人数も少なく落ち着いた感じで講義を受けられそうだったのも理由のひとつです。以前から英語教育に熱心な学校であると聞いていたので、今後の自分の授業に活かせる情報が得られるのではないかと希望しました。
- ・英語の音声指導の必要性は痛感しているものの、日々の授業のなかでの実践はどうしてもワンパターンになりがちである。今回教員免許状更新講習の中に「音声」に焦点を当てた講習があると知り、自分自身の授業の質を向上させるためのヒントになるのではないかと考え、参加を希望した。

- ・興味があったから
- ・音声指導の方法や授業での音読の活用の実践例に興味があり、受講を希望しました。本校では英文を読めない生徒も少なくないので、「英語を読む楽しさ」を知れば、もっと英語に興味をもつのでは？と思っています。
- ・以前から勉強会に参加させていただいており、ぜひ大阪女学院の質の高い講義を受けさせていただきたいと思いました。
- ・春期講座を受講して、大変実践的で意欲がわく内容でした。授業する側の熱意を引き出してくれるカンフル剤になり、また再度受講したいと思ったので。
- ・以前より、発音やリスニング指導に興味があり。効果的な指導法を学ばせていただきたかったからです。また、前年度の講座に1度参加させていただいて(3月)とても有意義な事を学ばせていただきました。
- ・自分の苦手とする発音指導や音読指導のあり方において、その理解を深め、指導の上で指導力を高めたい。
- ・授業での教科書の音読などにおいて、もっと興味や関心を持ちながら発音できるように導いていくことができればと思い希望しました。発音よりも文法指導に重点をおいてしまいがちになってしまうので、少しでも今よりもよい指導法のヒントがあればと思っています。
- ・小学校で勤務し、外国語活動の担当をしています。校内の教員向けの研修では発音のプログラムもあり、どのように行うべきかを模索しています。
- ・今後の授業改善に向け、ヒントを得たかったためです。
- ・教材研究はいつも悩んでいて、教材の開発には興味があります。考え方や工夫を教えてください今後の教材作りの改善のためにも受講したいと思いました。
- ・実際の教育現場で使用でき、また自らの授業内容や教材を考えることができる内容であると思い、希望しました。
- ・基礎力の低い生徒たちへの新しいアプローチを試みたい。
- ・日程がよかった。音読指導のブラッシュアップができそうだから。
- ・教材開発は、日々の課題であり、その基礎を学び、アイデアを交換できれば、自身の授業向上に繋がると感じたため。
- ・教科指導に活かすため。
- ・貴学の講習の既習者より、とても有意義なものであったと聞きましたので、日程の都合も合ったため。
- ・貴校の講習を以前に何回か受講させていただきとても勉強になったので。
- ・最近の新しい音声の教授法と教材のアイデアを教えてくださいたいと思い希望しました。
- ・御校の英語教育には定評があり、講師の先生方の授業を受けてみたいと強く思いましたので希望しました。また、受講料が良心的であることも魅力です。
- ・現在、発音指導に大変興味があります。
- ・英語教育で実績のある大阪女学院での授業をぜひ受講したいため。
- ・教材開発について興味があったので。授業で使えるものがあればと思い希望しました。
- ・教科指導等に関する講習であったからです。
- ・以前より、貴校では英語教育に情熱を持ち真摯に取り組んでおられると聞いておりましたが、3月の教員免許更新講習(教材の開発)に参加し、そのことを実感することができました。引き続きあと2回の講習を貴学で受講したいと思い受講しました。
- ・普通の授業では数をこなすことで精一杯でなかなか細部まで気を配れずにいます。教材を通してよりよい教育を目指していきたいと考えています。
- ・教材開発には日頃から興味があり、独自の教材を作る際のヒントをいただきたいと思ったから。
- ・勤務校が定時制ということもあり、生徒の学力やモチベーションにかなり差があるので教科書を使うにしてもアレンジを加えないと授業を進めていくのが難しいです。どんな生徒でも興味を持って取り組める教材開発の方法をこの機会に学びたいと思い、受講を希望しました。
- ・免許更新のため。
- ・場所・日程の都合がよかったこと。自分の授業に活かせそうだったから。
- ・不登校やひきこもりを経験した後、入学してくる生徒の多い通信制高校で英会話クラスを担当しています。従来の教授法ではなかなか興味・関心を引き出すことが難しいため、多様な方法を学びたいと思い希望しました。
- ・日々の授業に生かせる内容だと思ったから。日程が都合のつく時期であったから。
- ・教材開発や発音、発声について、ていねいに勉強をしたことがなかったので、講座のテーマに魅力を感じました。また、過去の体験談を読み、ぜひ大阪女学院で講習を受けたいと思いました。

- ・今年から使用教科書が変わったこともあり、大変興味深かったため。授業で教材をうまく取り入れ工夫して楽しいレッスンになるヒントがほしいため。
- ・教員免許状更新のため。
- ・大阪女学院大学は勤務校からの授業視察や大学説明会で何度か通った大学で、その教育方針と大学の姿勢を素晴らしいと思っていました。昨年度の講習の感想などを読んで、この機会にいろいろな視点から学びたいと感じました。教材開発及び音声指導には大変興味を持っておりまして、ぜひ受講を希望します。
- ・工科高校のあまり英語に興味のない生徒たちにとって少しでも魅力ある、また興味ある授業をするためのヒントを学びたくて希望しました。
- ・所属先の受講者より研修内容が充実していると聞いたから。
- ・水準の高い英語教育を実践されている大阪女学院大学で講習を受けたいと思い3月10日に“教材の開発”を受講させていただきました。素晴らしい内容で非常に勉強になりました。今回もぜひ大阪女学院大学で講習を受けたいと思い希望しました。
- ・特に実践的な英語の授業を参考にさせていただきたくったため。
- ・私は現在、定時制の高校で英語を教えており、毎授業ごとにプリントを作り、それを教材としています。もちろん教科書も使いますが、それだけで生徒の関心をひくには自身の授業スキルは未だ乏しく、よっていろいろ生徒の関心をひけるような教材作りに専念しています。このスタイルになってからよく感じることは授業の内容の良しあしは教材の良しあしによるところが大きいです。今回、貴校で行われる講習はまさにその教材についてであり、ぜひ勉強したいと思い応募させていただきました。
- ・日頃何気なく使っている教材ですが、開発という視点からみることで、さらに効果的な使い方ができるのではないかと考えたので。

B. この講習に期待することをご記入ください。

- ・実用的な講習であること。
- ・「教材を見る視点」「教材を使う視点」に興味があります。教材の有効な活用方法を学びたいと考えています。
- ・教材開発の方法を学ぶと共に、他の先生方が教材作りにおいて工夫されている点などを共有できればと思います。
- ・教材作成の最新のメソッドを学びたい。
- ・さまざまな事例に触れ、自分でもできそうなものを見つけて帰りたいと思います。
- ・今回の講習（8月7日）は苦手とする発音を中心とした講習であり、参加するのが怖い気もしますが、自分自身や授業のためのヒントをつかんで帰ることができればと思います。
- ・できるだけ多くのことを学び、今後の教科指導に生かせたらと思います。
- ・2学期からの授業ですぐに役立つ情報を得られればありがたいです。
- ・講習を自分が楽しんで学ばせて頂きたいと思います。
- ・中学生の段階で必要な発音指導全般に関する知識を得たいと考えています。
- ・日頃使っている教材について、時間のゆとりがなくなると共に教科書準拠の出版社が発行しているものを利用するようになってきました。しかし、時に内容が不十分であったり、満足できないこともあり、オリジナルなものを作りたいと思っています。できたら生徒の視点に立った、生徒が「自分で学習する力」がつくような教材がつけられたらいいと思います。
- ・新しい授業の教材やアイデアなど中学校の現状に合うものを取り入れられるように勉強したいです。
- ・いろいろな視点をもっと学んでみたいと思います。
- ・「使える英語」「通じる英語」について今まで自身が学んできたり体験したこととは違う視点から見る機会を得たいと思います。
- ・音読指導の効果的な指導法、特に本文の内容理解後、少ない時間でどういう順番でどんな音読をさせるとより効果的なのかを教示していただきたい。
- ・実用的な教材のアイデアや、教材作成のための留意点等を学びたい。
- ・日頃音読指導を重視した授業を心掛けております。よりその指導を磨ける研修となるようにと思っております。
- ・生徒が自発的に学習に取り組める授業を展開するヒントをいただきたいとともに大学で講座を受けられるのでとても楽しみにしています。よろしくお願いします。
- ・今後の自作プリントや授業展開に生徒が、より英語力をつけるための工夫が出来るように、何かを掴むことができることを期待しています。
- ・従来のリーディング方法などの他に、授業に生かせるようなものがあればありがたいです。

- ・日本人が正しく英語を発音するためのテクニックとそれをわかりやすく説明するためのポイントを自分自身で体験したい。
- ・実践的、具体的な事案を数多く取り上げていただきたいです。
- ・中学校での英語教育における教材づくりのためのポイントを学びたいと思います。
- ・新しい指導法 コミュニカティブであり同時に試験（各種）に対応できる力を伸ばす授業法があるのか知りたいです。
- ・音声指導や音読パフォーマンス等、興味があります。また、生徒が興味を持てるよう教材や補助教材のヒントを身につけたいので、その情報も知れたらと思います。
- ・実践的な内容を期待しています。
- ・教材開発では生徒の興味・関心を引き付けながら基礎・基本のポイントを絞った文法導入を行うために生徒の理解を助ける効果的なワークシートをどのように作成すればよいか学びたい。
- ・音読方法についていろんなバリエーションで具体的な指導方法を教えていただくと有難いです。
- ・長年教師を続けてきて、マンネリ化しがちな自分の授業に新たに視点や指導方法を吹き込んでいただけるとうれしいです。
- ・自分自身の発音の向上も期待しています。また、リスニングのクリニックも非常に楽しみです。
- ・教材を魅力あるものにするのはかなり難しく、授業で使う教材の良し悪しによって、その一時間の授業が効果的か、魅力あるものか、決まってしまうと思われるので、教材開発のヒントを何か得られればと思う。
- ・具体的な内容で、即、自身の教材選びや教材作りに参考にできるようなものを期待します。
- ・身近なものを教材に使えたらいいと思います。
- ・自分でもできる指導アドバイスを受けたい。
- ・8月6日「教材の開発ーその基盤となる考え方と工夫」生徒たちの学力レベルに応じた、適切な教材作成の工夫について体系的に学びたいです。
- 8月7日「体験型ワークショップ・音声で聞く英語指導のために」授業時における、発音・リスニングの効果的な指導法を学びたいです。
- ・共に講習を受ける同業種の先生たちの話も聞きながら自身のブラッシュアップをしたいと思っている。普段、大学の先生の講義を受ける機会がないので自分自身にも刺激になると思って楽しみにしている。
- ・さまざまな発音・音読指導の技術を学び、生徒を飽きさせない授業につなげたい。
- ・生徒がより学習意欲が湧く教材作りのヒントをえられれば幸いです。
- ・授業に活かせるアイデアを吸収できること。教材についての新しい視点を学ぶこと。また、講習2ではリスニング・スピーキングの自身のスキル向上と、生徒に指導する際の有効なヒントを学ぶこと。
- ・ひとつでも多くのテクニックを吸収し、自分のものにしていけたらと考えています。
- ・教科書を使わない会話や Workshop 型の授業を何度も担当してきましたが、いつも教材作りに苦勞しています。本講座で理論的実践的に学んだ事を授業で活かされたらと思います。また、音声指導には特に力を入れているので2日目の「発音指導へのヒント」他にも早速授業に役立たせることができると期待しています。
- ・生徒たちの英語学習に対するモチベーションが高まる教材や指導法について、またその視点についての考え方等、これまでに効果のあったいろいろな教材や資料についても知りたいと思っています。
- ・効果的な音声（発音）指導 効果的なリスニング指導 発音・リスニングの向上に効果的な教材開発。
- ・新たな発見。
- ・発音練習や音読練習は、授業のなかで生徒がなかなか前向きに取り組もうとはしない傾向があるので、講習で生徒が楽しく練習できる実践例をたくさん学びたいと思っています。
- ・音声指導についての講習を受けるのが初めてなので、基礎からしっかりと学びたいと思います。
- ・発音やリスニング指導の効果的な指導法を学びたいです。
- ・自らの発音指導や音読指導のあり方を再考し、生徒が「生きた英語」を使うことができるように指導を進めたい。そのために発音指導や音読指導の方法の観点で生きた教授法を見いだしたいと考えています。
- ・楽しくてためになる英語の授業のヒントがあれば教えていただきたいと思います。
- ・音声面についての実質的な講義を受けた記憶がありません。はるか昔の大学時代には、そのような授業はなかったと思います。ラジオなどで独学でやってきたという印象です。この講習を通して自分自身の力を高められるよう頑張りたいです。
- ・教材作りに関して新たな知識を得たい。
- ・生徒にとって単調な授業にアクセントになる何かを得られることを期待しています。

- ・教材開発を効果的に行うためのジャンルの考え方というのは今までに指摘されてこなかったように思います。教材の英文といってもさまざまで、その特徴を生かして使うための理論を学び Teaching Plan が書けるように、またハンドアウトの作り方やタスクの並べ方、共同学習への発展の仕方など、さまざまなことが学べるのを期待しています。
- ・有意義なものであってほしい。
- ・発音についてその指導法は手探りの状態（我流 or 発音記号 etc）でしたのですぐに授業に使える内容を期待しています。
- ・まさに講習の名称どおりの内容を知りたいです。教材がどのように開発されるのか
- ・発音指導・音読指導のいろいろな方法を学んで帰りたいと思っています。
- ・英文学科・英語学科出身ではないので専門的な英語の授業を受けた経験が少ない。
貴校は英語教育では定評があるので期待している。日々の授業はどうしても受験を意識したものであるのものでそれとはまた違うタイプの授業のモデルを学べることを期待している。
- ・御校は歴史と伝統およびキリスト教精神に基づき幅広く教育活動を行っておられます。また、学問を研究対象としてのみならず社会に還元することを前提に多くの優秀な人材を輩出し、教授の方々も研究と教育の両方に真摯に取り組んでおられるので学ぶことの多い講習であろうと考えて志望しました。
- ・実践的な内容を期待しています。
- ・音声指導や音読パフォーマンスなど興味があります。また、生徒が興味を持てるよう教材や補助教材のヒントを身につけたいのでその情報も知れたらと思います。
- ・教材作り、教材選びのヒントを得ることができることです。
- ・今後の授業展開において即実践できるようなことを得てかえられたらと思います。

C. ご自身の英語の教科活動で日頃課題としていることはなんですか。

- ・「50 分間、生徒の頭をフル回転させ続けることはできるか」を考え授業デザインを組み合わせ構成させる。
- ・子どもたちが英語に興味をもって楽しく活動できるように工夫して色々な意見を取り入れていくことです。
- ・クラスの中で学力が上位の生徒にも下位の生徒にも大いに意義のある授業。英語を英語のまま理解できるような指導を心がけています。
- ・小学生に対しては Simple, Same, Short で指示を出すこと。自分が意識して正しい発音を心がけること。
- ・読むことに対して苦手意識をもったりする生徒もいるため、少しでも楽しく、わかりやすく、文法用語を使いすぎないように意識しています。中学時代では英語嫌いを増やさないようにできればと思っています。
- ・現在中学校にて指導していますが、英語本来の話す活動に重点をおいた指導がありません。文法説明はもちろん大切なのですが Grammar 中心の授業に重きを置がちです。50 分の授業の中でできるだけ生徒に英語をはなしてもらい自信をつけさせてあげたいと思っています。
- ・どのように生徒中心の活動を作りだすか。
- ・「楽しくなければ身につかない！」をモットーに日々どうすればわかりやすい授業ができるかを試行錯誤しています。コミュニケーションが苦手な発達に課題を持っている生徒は日本語よりも英語の方が文法が簡潔でわかりやすいため英語を学ぶ事で実生活に役立つことがあると考えており、伝えていきたいと思っています。
- ・生徒自身に考えさせ答えを見つけさせること。答えに至るプロセスを自分で体験し失敗をしていく中で自分で問題意識を持ち自分の手で考え、調べ、解決法や答えを見つけることが本当の学びであることを伝えてゆきたいと思っている。
- ・昨年度から公立中学校ではなく私立中学校で勤務することになり、教材研究において悩むこと、学ばなければいけないことがたくさんあります。中高一貫校（並設型）なので大学進学（受験）を中学から意識させられるのですが中学校ならではのやり方で高い学力をつけさせるにはどうすればよいか毎日悩んでいます。
- ・とにかく楽しい授業であること。たくさん発話させるために子どもたちの発言を否定はしない。但し、発音についてはその後クイズ形式で正しい発音を聞きとらせ直す。
- ・ワークシートを使用する上で効果的な内容かどうか、常に疑問があります。興味を持って生徒たちが取り組める活動のアイデアがほしいと思っています。
- ・生徒達に使える英語を身につけさせること。
- ・生徒たちが自立した学習者になれるように学ぶ責任を心にとめた学習ができるように 3 ヶ年間の授業を考えようとしています。また、大学受験のための投資期間はなく大きな成長へのスパイラルの通過点である高校時代を作る支援をしていきたいと思っ

- ています。単に発信するための英語力ではなく対話し深め、考え、表現する英語の授業であれと目標をおおきく掲げています。
- ・少しでも興味がわくように教科書以外の教材を混ぜるようにしている。
 - ・自らの英語力（特に会話力）の不足。
 - ・生徒たちの知的好奇心を刺激し、学ぶ意欲を起こさせるような生き生きとした授業をしたいと思っていますが、実践することはなかなか難しいです。
 - ・英会話は、All English で行っていますがさらに充実した授業にしたいと常に考えています。
 - ・生徒間の学力差をふまえつつ、いかに効果的に生徒に興味付けをすることができるのかということが大切だと考えています。
 - ・英語を学ぼうとする動機づけを適切に行い、それをいかに持続させることができるかとおおきな課題だと考えています。
 - ・使える英語の定着を目標に生徒の活動を多くとバカげっていますが、教えなければいけない範囲や進度や文法事項などに格闘しております。
 - ・基礎力がある程度しっかりできている生徒とそうでない生徒の二極化が進んでおり、そのギャップをどのように埋めていくのかが課題です。また、転勤により学力低位層から高位層の学校へ移ったため教え方を根本的に見直す必要があると考えています。
 - ・中学校時代に英語に苦手意識を持ってしまった生徒が多いので、少しでも英語の楽しさに触れ、「勉強してみようかなー」という気持ちになる生徒が増えるような授業ができればと思っています。
 - ・単に英語が受験のためのものであるのではなく、人とのコミュニケーションのため、気持ちを伝えるためのものであり、生活のただ中にあるイキイキとしたものであることを生徒たちに実感してもらうこと。
 - ・授業の中で音声指導の割合を高め定着させていくこと。生徒に積極的に音声活動に取り組みさせるための工夫。
 - ・一時間の授業の活動の中で読む、話す、聞く、書く（4技能）の活動をできるだけバランスよく取り入れること。
 - ・楽しく英語学習に取り組めるよう、教材を工夫し複数用意する。学習した内容を使って自己表現させるなどです。
 - ・自分自身の英語力を高めると同時に「教えるプロ」としての力をいかにつけるかということです。今まで様々な研修に参加してきましたが、まだまだ試行錯誤することが多いです。今回の講習で学んだことを現在の勤務校の実態にあわせた授業でいかに活用できるかを考えていきたいと思っています。
 - ・英作文指導やより文法をわかりやすく教える方法など。現在完了などは日本語とは少し感覚が違うので教え方にとまどうことも多い。自分自身が感覚として身につくことも時間がかかったように思う。
 - ・音読指導が苦手なので、できるだけいろんなやり方で生徒に音読をさせたいと思っている。
 - ・最終的には英語を読んだり聞いたりすることの楽しさを伝えたいと常に思いつつ指導しているが日常的には英語は考える教科であること、と同時に繰り返し、繰り返し音読させることで英語が身に付く実感を楽しませたいと思っています。
 - ・学力差がある生徒たちに対する一斉授業。教科書に沿った進み方ではワンパターンになりがち。
 - ・生徒たちの英語力の差が大きく40人の生徒を対象とした授業には、どうしても基本事項の説明が多くなり、英語力の高い生徒たちには教材やレベルや分量の点でやや物足りない授業になってしまいます。部活動（ESS）などでは、少人数なので発音指導も丁寧にできますが、授業で多数を対象に音声指導をきっちりと行うにはかなり難しいと感じています。
 - ・生徒たちが意欲（興味・関心）を持って勉強できる授業の展開。
 - ・時間内で必ず複数回英語で考えさせられる工夫をしている。
 - ・できるだけ生徒が受け身の形で受ける授業ではなく積極的に活動できるような授業になるように心がけています。
 - ・その1回の授業で「わかった」と感じてもらえるような授業を行うこと。そしてもっと英語をやりたいと思ってもらえるような授業を展開すること。
 - ・いかに生徒たちの興味をひきつけて授業できるのか、教材を作るようにしています。
 - ・卒業後に自分で英語を読んだり書いたり話したり聞くことができるようになるための基礎になる力や学習習慣を身につけさせることが課題であり目標ですが大苦戦しています。
 - ・習得した学習内容を活動や活用によって生徒が表現してコミュニケーション能力を身につけさせられる方法や場面設定の内容を探求しています。
 - ・生徒が授業で英語を楽しめるための雰囲気づくり。
 - ・「英語」＝できない→クライ で拒否反応を示す生徒がたくさんいる学校で勤務しています。少しでも英語に対して心を開くように親しみを持ってもらえるように努力しています（教科書の内容にそくした資料を集めて生徒に提示）
 - ・生徒が飽きないように投げ込み教材を取り入れ授業にメリハリをつけることです。
 - ・映画やニュースなど生徒の知的好奇心をかきたてるような教材を用いること。

- ・モチベーションを上げること。
- ・生徒が興味を持って授業に参加することができるように工夫をしていきたいと思います。またそれが安易なものにならないように、生徒の本質的なやる気を引き出すことができるように考えていきたいと思います。
- ・生徒に「小手先」ではない「本当の英語力」をつけさせるにはどうすればよいか、ということです。時代の流れとともに安易さ、すぐに答えを求める姿勢が増えたように思います。理想と現実のギャップをどこまで埋めることができるのかが課題だと感じています。
- ・子どもたちが楽しんで授業に参加すること。
- ・生徒が集中し、意欲的にとりくめる英語の授業を目指しています。
- ・motivation を高める（あるいは維持させる）教材作りに注意しています。
- ・勤務校が進学に力を入れているため、大学入試に対応できる力、特に「教える力」をつけたいと思っています。
- ・生徒の気持ち、興味を引き付けられる教材作り、話し方、展開の仕方などマンネリ化しつつある授業の形をどう工夫していくかが課題です。
- ・生徒にとってわかりやすい授業、生徒の立場に立った授業を心がけています。
- ・英語嫌いを少しでも減らしたいという点です。
- ・説明は最小限にとどめ、生徒に音読など活動させるため。
- ・理解度の異なる生徒が同じクラスにいた場合に全てのレベルに通じる授業の進め方。
- ・現在の勤務校で音読指導する上で時間がかかりすぎて困っています。どうにか集中して読み切らすまでと思って取り組んでいますが・・・
- ・音読 英語を好きになってもらいたい。
- ・スピーキング、リスニングまた、表現力をつけることをどのように伸ばしていくことができるのか。自身の発音も生徒の発音の向上。教科書を1年間で終えることにとらわれすぎてしまい、アクティビティーをする時間が削られてしまっていること。そのために、生徒が学習した内容を実際に使ってみることがなくなってしまうこと。
- ・できるだけ生徒が考えることのできるような授業にすることです。
- ・中高一貫校で勤務しているので、6年間という長いスパンをいかにうまく配分するか。4技能のバランス。50分の授業で効果的に英語力を定着せさせるにはどのように時間を配分するのがいいか。

1.2 講習1「教材の開発－その基盤となる考え方と工夫－」

■講座のねらい

英語の授業ではさまざまな教材が使われる。「教材開発に役立つジャンルの考え方」では、英語教材のジャンルに注目して、それぞれのジャンルに固有な言語的特徴をどのように見つけて教材化するかを、事例を挙げながら考える。目的や場面に適した言語使用を実践するためには、語彙や文法を取り上げるだけでなく、ジャンルに特徴的な情報の伝え方（表現意図の構造）に注目することが大切であろう。マイクロ、マクロの観点から教材を捉え、「使える英語」「通じる英語」につながる教材開発の一助としたい。

「教材開発の方法」では、学ぶための「学習材」と教えるための「教材」の観点から、最初に教材研究として教材の位置づけや教材の読み込みを含む「教材を見る視点」を考える。次に、学習者である生徒に応じた教材の使用の実際から、教材の改作を含め学習目的に合った教材作成を考える「教材を使う視点」を検討する。さらに、そうした視点を基に、ワークシートや補助教材作成のデザインなど「教材開発の工夫」をペア、グループで実際に text-based material(教科書)・task-based material(ロールプレイ等)・realia(実物教材)などを使って考える。最後に、講習を振り返りくつろいでいただくため、投げ込み教材としてマザーグースの世界を紹介し、楽しんでもらう。

○担当：東條

- ① 9：10～10：10 教材開発に役立つジャンルの考え方(1)
- ② 10：20～11：20 教材開発に役立つジャンルの考え方(2)

○担当：中井

- ③ 11：30～12：30 教材開発の方法(1)－教材を見る視点－
(昼食)

- ④ 13 : 20 ~ 14 : 20 教材開発の方法 (2) -教材を使う視点-
- ⑤ 14 : 30 ~ 15 : 30 教材開発の方法 (3) -教材を開発する工夫-
- ⑥ 15 : 40 ~ 16 : 10 教材開発の方法 (4) -マザーグースの世界を教材に-

■教材開発に役立つジャンルの考え方 東條

1. はじめに
2. ジャンルとは何か
3. ジャンルを取り入れた視点
4. ジャンルを取り入れた教材開発に向けて
5. 「使える英語」「通じる英語」を目指して (まとめ)

●ジャンルとは

- ・ 特定の目的をもっている
- ・ 特定の対象がある
- ・ 特定の情報を伝える
- ・ 特定の言語的特徴がある = パターンがある

●ジャンルを取り入れた視点

言語はパターンで構成されている

- ・ 音のパターンが単語となる 発音
- ・ 単語のパターンが句や節となる コロケーション
- ・ 句や節のパターンが文章となる 文法
- ・ 文章のパターンがテキストとなる テキストの構造
- ・ テキストのパターンがジャンルとなる ジャンルの構造

■教材開発の方法 中井 弘一

●論理的に考え、道筋を見つけるためのものを見る眼

(1) 視座：「どの角度から見るか」

- ・ 物事を認識する時の立場 / 物事を見る姿勢や立場
- 学習材：生徒の立場、教材：先生の立場
- 内容理解の教材、定着練習の教材

(2) 視野が広い：「どこまでの範囲をカバーしているか」

- ・ ヘリコプターで上空から見降ろしている。広い範囲が見渡せ、全体の地形なども確かに把握することができる
- 「木を見て森を見ず」「森を見て木を見ず」
- ・ マクロな視点：状況や対象から距離を置き、視野を広げることで全体の構造や動静を概観する
- ・ ミクロな視点：状況や対象に近づき、視野を狭めることで細かな部分の特性や問題点などをしっかり認識すること

(3) 視点：どこに着目するか

- ・ ものごとを見る見方の要点、つまり目の付けどころ
- ・ ただ、視点を固定化は、カメラのように、一点ポイントに焦点化すると他のものがぼやけて見えるということを認識しておかなければならない

文科省報告書式による講習評価 (対象教員及び聴講教員：47名)

評価基準

- 4：よい (十分満足した・十分成果を得られた)
- 3：だいたいよい (満足した・成果を得られた)
- 2：あまり十分でない (あまり満足しなかった・あまり成果を得られなかった)
- 1：不十分 (満足しなかった・成果を得られなかった)

I. 本講習の内容・方法についての総合的な評価（4段階評価）

1. 学校現場が直面する諸状況や教員の課題意識を反映して行われていた。
2. 講習のねらいや到達目標が明確であり、講習内容はそれらに即したものであった。
3. 受講生の学習意欲がわくような工夫をしていた。
4. 適切な要約やポイントの指摘等がなされ、説明が分かりやすかった。
5. 配付資料等使用した教材は適切であった。

平均	4	3	2	1
受講者 47名	3.87	41人	6人	

II. 本講習を受講したあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての総合的な評価（4段階評価）

6. 教職生活を振り返るとともに、教職への意欲の再喚起、新たな気持ちでの取り組みへの契機となった。
7. 教育を巡る様々な状況、幅広い視野、全国的な動向等を修得することができた。
8. 各教育活動に係る学問分野の最新の研究動向、これまでの研修等では得られなかった理論・考え方・指導法や技術等を学ぶことができ、今後の教職生活の中での活用や自らの研修での継続した学習が見込まれる。
9. 受講前よりも講習内容への興味が深まり、教員としての知識技能の厚みや多様さを増す一助となった。

平均	4	3	2	1
受講者 47名	3.74	35人	12人	

III. 本講習の運営面（受講者数、会場、連絡等）についての評価（4段階評価）

平均	4	3	2	1
受講者 47名	3.74	35人	12人	

本学依頼受講者記述講習コメント

- ・英語の苦手な生徒からハイレベルな英語を要する生徒まで幅広く活用できる教材づくりを学ぶことができました。自分の英語も様々な教材研究をすることで高めていきたいです。
- ・“明日の授業”からすぐに活用できる例をいっぱい準備していただき助かりました。特に資料にまとめていただいたワークシート集は、コピーして使用させていただきます。少し講義の量が多すぎて（高度すぎて）私のような者にはついていくのが精一杯でしたが、「なるほど！」と心にスッと入った事項も多くありましたので、持ち帰って活用させていただきます。本日は本当にありがとうございました。
- ・内容がとにかく盛りだくさんで、スローラーナーな私にはちょっと授業についていくのが精一杯でした。メインテーマは“教材”に絞られていましたので、すぐにも授業で役立つヒントや題材が提示され、この講習を受講できてよかったと思います。ちょっとしたお楽しみもあり、あっという間に一日が過ぎ、本当に有意義だと感じています。グループワーキングもあり、他校の先生方とも親しくなれたり、とても良かったと思います。免許状更新講習での受講でしたが、また機会があれば是非他の講座にも参加したく存じます。どうもありがとうございました。
- ・今まで、自分でも「これでいいのか」と思っていた教材づくりのやり方に関して、明確な答えを頂いたように思った。たくさん教材例を示していただき、非常に刺激になった。マンネリ化しつつあった授業に「喝」を入れられそうです。また、ジャンルの考え方は新鮮でした。
- ・限られた時間の中で、多岐にわたる情報、有益な知識、そして実践的な方法論と工夫を学ぶことができ、大変有意義な時間となりました。教員歴の年数だけを重ねることなく、心新たに生徒のためになる授業づくりをしていきたいと思います。とても楽しく、実りある一日でした。ありがとうございました。
- ・一日があっという間でした。明日からすぐに役立つというより、これから教えていく際の指針となるような考え方を教えていただき、とても刺激になりました。マザーグースも楽しかったです。ありがとうございました。
- ・「時間が足りない」を言い訳にせず、「無駄はないか」と自分の仕事を見直そう。
- ・まず、東條先生と中井先生の温かい雰囲気と素晴らしく準備された講習に感動しました。授業をするものとして、まず実践しなければいけないことを改めて感じながらお話を聞きました。6時間、あっと今に過ぎるほど具体的に日々の自分の教材研究を振り返ることができました。新しい考え方で、教科書や生徒と向き合って授業を作っていくことができそうです。とても元気になり、

自信が」持てそうです。東條先生の「2次元の教材を3次元で見る眼が必要」というお話も、とても心に残りました。特に読解問題は生徒と同様にべたっと読んでしまいがちだったので、今後の指導に役立ちます。中井先生の盛りだくさんなお話もとても興味深いものばかりで家で資料を読み返すのが楽しみです。たくさんのお土産ありがとうございました。

- 今日は大変楽しく受講させていただきました。授業に役立つ教材もいろいろ教えていただき、盛りだくさんの充実した一日を過ごせて大変喜んでます。受講者が参加するワークの時間も設けていただき、楽しむことができました。お二人の先生が大変熱意を持って教えていただいたことを感謝いたします。
- 教材開発ということで、いろいろなヒントになる話を聞くことができ、2学期に早速やってみようと思いました。自分の思い込みやワンパターンから抜け出せる具体的な話を聞くことができ参考になりました。ありがとうございました。
- プリント作成の功罪について、深く考えさせられました。「効率よく教えて、言語活動の時間を作るため」の予習プリント作成でしたが、生徒達を「与えられたことしか答えなくてよい」体勢にしてしまっていたのかもしれないと気づきました。中井先生の「えっと思わせて、生徒を引き込む」手法に富士山登山やだまし絵のイントロで引き込まれました。長時間の講習でしたが、「もっともっと深く聞きたい」と思う内に終了しました。どうもありがとうございました。
- 内容は満足のいくものでしたが、後半の講義、少し速く、飛ばされた部分が多く、その点が残念でした。
- 本当に有意義な時間を持つことができました。久々に学校に戻って学習させていただいて本当に嬉しく思います。毎日、教材を作成したり、授業案を考えていたりする中であやふやになっていたこと、悩んでいたことがありました。しかし、今日、先生方の講習の中で、「こういう風にしなくてはい」や「こんな風に考えたら生徒もするかも」等思うことがたくさんありました。残りの夏休みに、秋からのことを考え直していきたいと思います。そして、次回も是非受講したいと思います。
- 試験の方に感想を書いてしまいました。本日はありがとうございました。リフレッシュして意欲が湧いてきました。
- 普段忙しさに紛れて、思いもつかないような視点、英語のとらえ方などに触れさせていただけました。中井先生の講習はふんだんなアイデアを教えていただき興味深かったのですが、やや盛りだくさんすぎて、少し消化不良になったのが残念でした。
- 私は、大阪女学院の中学校・高校の卒業生で、再びこの緑多き学校の中で学べることを楽しみにしていました。東條先生、中井先生の英語教育の基となる教材開発について楽しくお話していただき、あっという間の時間を過ごすことができました。また、今までの教職生活生活への振り返りと夏休み明けの授業に対する新たな気持ちが湧いてきました。ありがとうございました。
- 日々の授業を振り返り、反省することが「多!!」でした。思いつきの黒板や（ ）埋めだけになるプリント教材など。2学期の授業に役立てたいと思います。どうもありがとうございました。
- 英語教育に対する大きな考え方とともに実践例も同時に示していただきありがたかったです。
- これからの授業にとても役立つ資料とアドバイスをいただき、大変嬉しく思います。ありがとうございました。
- 非常に実践的で、明日に役立つもの、今後の教員人生にとって大きな指針の一つになり得るものと多様にあり、大変有意義でした。ありがとうございました。
- 「教材開発に役立つジャンルの考え方」がとても勉強になりました。以前から興味があったので、もっと詳しく学びたいと思いました。ありがとうございました。
- 大変勉強になりました。先生が元気であること、そしてたくさんの知識(学問ではなく)エンターテイナーとなれるほどの技を持ちたいと思います。再確認させられました。
- input は大事と言っておられたとおり、一人の教員の経験としては得られないような数多くのヒントを頂きました。ヒントというよりは考え方に大きな良い影響を与えてもらい、また新たな心構えと教材を携えて教室に向かえることができそうです。認定試験の方にはコメントも頂け、メーリングリストへの参加のお誘いや有益な教材の紹介と至れり尽くせりです。教師も仲間や背中を押してくれる人やそういった機会が大切なんだとつくづく思わせてもらいました。本当に良い機会になりました。お土産いっぱい頂きました。ありがとうございました。
- 日々の授業づくりに関しての課題が多く反映されていて、明日からすぐ実践できるような内容で、とても楽しく受講できました。ありがとうございました。
- 明日からの授業をどう実践していくかという点において、理論、技術、展開態度等、単に tips にとどまることなく、様々な観点から学ばせていただきました。十分すぎる内容で、一日で終わってしまうのは惜しいです。できることならもう少しゆっくり自分のものに intake できる時間がほしかったです。ゆっくり読み直します。資料も素晴らしいカラーの冊子を作ってくださいたり、お茶やお菓子までも用意してください至れり尽くせりでありがとうございました。
- 一日だけの受講でしたが、大変充実したものでした。二日目の受講は残念ながらできませんでしたが、機会があれば是非聴講したいです。

- ・どちらの講習も非常に実践的な内容で、参考になりました。2日間続けて参加したかったので、受講者数をもっと増やしていただけとありがたかったです。
- ・今回の第一回目の講習は、今までの自分の考え方や見方を180度転換させていただいた内容でした。常に斬新な視点で探究されている東條先生、中井先生には頭が下がります。知的な好奇心を刺激していただき、早速2学期からの授業に取り入れていこうと思いました。授業は本当に奥が深く、これで終わりということがありません。この免許状更新講習は今までの自分のやり方をおおいに反省させられるとても良い機会だったと思います。これをきっかけに定期的に講習を受けていきたいと思っています。本日は本当にありがとうございました。
- ・「楽しかった！」というのが、まず最初の感想です。東條先生、中井先生のお人柄も大変素晴らしく、教師として楽しい授業をする上で、参考になる点が多かったです。教師自身がその授業を楽しんでいることが、子ども達の授業満足度につながると思います。先生方からは講義を通してたくさんのことを学ばせていただき、ありがとうございました。今後も機会があれば研修等に参加してみたいと思います。
- ・とても勉強になりました。ワークシートを作る際、つい、あれもこれもと入れてしまい、生徒が自分で考えなくてもできるものになっていることもあると反省しました。今日学んだことを2学期からの授業に活かしていきたいです。ありがとうございました。
- ・まず、一番印象的だったのは、講師の先生方がとても楽しんでらっしゃるようなエネルギーを感じました。いろいろ紹介していただいたように、実際の学校での授業でも先生の個性を出した教材で、試験範囲や大学受験を気にせず、英語を使うことを単純に楽しむことを目標とした授業ができるならどんなにいいだろうかと思います。英語はそれほど難しい文法や構文やイデオロムを覚えなくても簡単な単語と文で話せるし、十分コミュニケーションもできるのになあとやはり日本の英語教育の現状には少し疑問を覚えています。
- ・何となく授業に役立てられたらいいなという考えで受講しましたが、とてもいい刺激になりました。普段意識していなかったことがいろいろわかって、改めて自分の英語力を上げようというモチベーションにつながりました。やらなければいけないことがいっぱい見つかった感じです。楽しかったです。ありがとうございました。
- ・先生の教材開発に対する情熱がひしひしと伝わってきました。
- ・現場で使える教材、考え方を教えていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・豊富なハンドアウト、熱心な中井先生、東條先生、お二人の授業内容、あっという間の6時間でした。ご紹介くださった様々なHPや教材など少しでも今後の授業で活用できるようにしたいと思います。最後のマザーグースもとても楽しかったです。どうもありがとうございました。
- ・とすれば自己流でマンネリになりがちな授業(特に先生の「今日はこれにしとこか」のお言葉は耳に痛く聞こえました)を今一度見直す良い機会を頂きました。ご経験豊かな先生方の講義に加え、豊富な資料、良い環境、大変素晴らしい時間を頂きました。夏の間にはべき課題が明確になりました。ありがとうございました。
- ・一日を通して、大変興味深い内容でした。毎回パターン化した授業をやってしまいがちな部分がありましたが、今回の講習を機に、普段の自分自身の授業内容を見直す良い機会となりました。
- ・教材を開発していこうとする努力がそのまま授業の向上に当たるという、当たり前のはずなのに長年の馴れで見失っていたことに気がつかされました。若い先生方が作成された教材を参考に学校で他の先生と話し合い生徒達の興味を惹きつける「プリント」を作成する必要性を感じています。更新講習は有効に受講できました。ありがとうございました。
- ・教材へのアプローチの仕方や実際の教材例を示していただき大変参考になった。特に教材についての考えた見方は自分で教材を開発していく上でおおいに参考になった。
- ・本日はありがとうございました。とても参考になるワークシートや教材を資料としていただき嬉しく思います。今後は学習体験を盛り込んだワークシートを作っていきたいと思います。
- ・期待通りの講習でした。中井先生の情熱あふれる講義を聴くために遠くから来た甲斐がありました。自分で言うのも何ですが、私も英語の授業には毎回精一杯の準備と情熱を持って授業しております。今日の講習は先生の熱さがぐっと伝わってきました。「素晴らしい内容は全部伝えたい」という先生の思いは素晴らしいですが、もう少し絞っていただけたらと思いました。全部伝えたい思いはわかりますが、若い先生達にはどれが重要なのか見逃される恐れもあるように思いました。ただ、私は経験上、精選できるので今日の熱のある講習で学ぶべきものはしっかり身につけていただけたつもりです。
- ・教材開発におけるジャンルのとらえ方、そして教材を見る視点、使う視点、開発する工夫と様々な知見を学ぶことができた。教材をどのように与え、理解し、生徒達立場に立って教材を作成することが大切だと気づいた。
- ・大阪女学院での研修なので、すぐに役立つアイデアをたくさん教えていただけたとは思っていたが、想像以上に有意義で楽し

い講義であった。「教材開発に役立つジャンル」では実際的な活動があり、普段の生徒の立場に立つこともできてとてもわくわくした。「教材開発の方法」では、様々なアイデアいただけたが、何か一つ実際に教材を作るとかプチ授業をするなどできれば最高だったと思う。いずれにせよ、貴重な体験でした。ありがとうございました。



1.3 講習2「体験型ワークショップ：音声で拓く英語指導のために」

■講座のねらい

英語の音声に焦点を当てた体験型ワークショップ・クリニックを行う。

午前の部は、「発音の向上と発音指導の方法」として、英語における音素の生成過程や音のつながりの仕組みを理解し、教室で使用されているテキストを用いた体験型ワークショップを通して、発音向上のための練習及び発音指導のヒントについて考える。

午後の第一部は、英語の音声音が音素・音韻レベルから語、句、文レベルへ、さらにまとまった内容のある素材の中でどのように表れているかに注目しながら、音声理解向上の糸口を見つけ、リスニングのハードルとなっている要因を段階的に追っていく「英語リスニングのクリニック」を試みる。

午後の第二部は、「教科書テキスト」「詩」「映画セリフ」「絵本」「ニュース」「早口ことば」など様々な素材を使った音読パフォーマンスや「名言（speech 含む）」の暗唱パフォーマンス等の音声表現ワークショップを行い、授業での音読の活用を探る。

○担当：夫

- ① 9：10～10：10 日本語には見られない「音のつながり」の理解と教科書分析
- ② 10：20～11：20 発音練習と発音向上のクリニック
- ③ 11：30～12：30 発音指導へのヒント
(昼食)

○担当：東條

- ④ 13：20～14：20 英語リスニングのクリニック

○担当：中井

- ⑤ 14：30～16：00 音読パフォーマンス

文科省報告書式による講習評価（対象教員及び聴講教員：33名）

評価基準

- 4：よい（十分満足した・十分成果を得られた）
- 3：だいたいよい（満足した・成果を得られた）
- 2：あまり十分でない（あまり満足しなかった・あまり成果を得られなかった）
- 1：不十分（満足しなかった・成果を得られなかった）

I. 本講習の内容・方法についての総合的な評価（4段階評価）

1. 学校現場が直面する諸状況や教員の課題意識を反映して行われていた。
2. 講習のねらいや到達目標が明確であり、講習内容はそれらに即したものであった。
3. 受講生の学習意欲がわくような工夫をしていた。
4. 適切な要約やポイントの指摘等がなされ、説明が分かりやすかった。
5. 配付資料等使用した教材は適切であった。

	平均	4	3	2	1
受講者 33名	3.88	27人	5人	1人	

II. 本講習を受講したあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての総合的な評価（4段階評価）

6. 教職生活を振り返るとともに、教職への意欲の再喚起、新たな気持ちでの取り組みへの契機となった。
7. 教育を巡る様々な状況、幅広い視野、全国的な動向等を修得することができた。
8. 各教育活動に係る学問分野の最新の研究動向、これまでの研修等では得られなかった理論・考え方・指導法や技術等を学ぶことができ、今後の教職生活の中での活用や自らの研修での継続した学習が見込まれる。
9. 受講前よりも講習内容への興味が深まり、教員としての知識技能の厚みや多様さを増す一助となった。

	平均	4	3	2	1
受講者 33名	3.76	25人	8人		

Ⅲ. 本講習の運営面（受講者数、会場、連絡等）についての評価（4段階評価）

	平均	4	3	2	1
受講者 33名	3.76	26人	6人	1人	

本学依頼受講者記述講習コメント

- ・ 午前の部では、系統立てて発音の違いを知ることができ良かったです。今まで曖昧に感じていたことがすっきりしました。午後の部、第一部でも具体的な問題点が分かり、その点を意識しながら今後の授業に活かせると思います。第二部でも、「絵本」「早口言葉」「名言」を中心にたくさんの教材として使えるものをまとめていただき授業で活用できると思います。本日はありがとうございました。
- ・ 午前中の発音の授業は、あやふやだった発声の仕組みの知識を体系的に教えていただいて良かったです。一つ一つの発音練習は、言われた直後は分かっている、あとでいくつか混ぜると単に混乱してしまいます。時間をかけて繰り返し練習をし、定着させなければいけないものだと痛感しました。生徒はさらに困難で時間がかかると思います。午後の東條先生の講習は、発音することと聞き取ることが表裏一体になっていることに気づかせてくれたと思います。中井先生の講習は楽しかったです。この楽しさを教室でも伝えるのはどうしたらいいのかをこれから考えていかなければと思います。
- ・ 現場で活用できそうな「宝物」をたくさん示していただきました。ありがとうございました。
- ・ 2日目の受講でした。夫先生の発音記号の説明とその練習は非常に分かりやすく楽しかったです。子音のm, n, ŋの違いはとてすっきりしました。また、æの口の形もすっきりしました。LL教室の設備も素晴らしく活動しやすかったです。東條先生のhonestyから始まる授業。心穏やかになりました。また、リスニングのハードルを分かりやすく解説していただき、今後生徒を指導していくにあたってのスマールステップをどう踏めばいいのかを考えることができました。中井先生からはたくさんのお土産をいただきました。授業のはじめに帯び学習で発音練習することを必ずやってみたいと思います。”Rain”, “Water”, “Paul”の活動はとても楽しかったです。是非中学生とやってみたいと思います。本当にこの講習を選んで良かったです。ありがとうございました。
- ・ 音声指導や音読パフォーマンスについてすぐに実践に活かせるヒントをいろいろ頂きました。ありがとうございます。確かに中井先生の講習は盛りだくさんでしたが、いろいろな素材も頂けて、「よし、やってみよう」という意欲が湧きました。
- ・ 午前の部は、音声学をしっかり学んでいなかったのが非常に役に立った。今後の授業での発音指導に自信を持って望めるようになると思う。午後の中井先生の講義では、本当に様々な素材を紹介していただき、いろいろな授業で活用できると思います。すぐ参考になりました。ありがとうございます。
- ・ 2日間受講して、英語指導のいろいろなヒントを教えていただいたと思います。少し難しいところや速いところもありましたが、先生方の熱意が全体を通して伝わってきて、こちらもしっかり学ばなければと感じ、徐々に生徒の気分で頑張って講習を受けました。教材もたくさんいただき、さっそくいろいろ試して使ってみようと思います。また、機会があれば参加したいです。本当にありがとうございました。
- ・ 日頃、なかなか時間を取って扱うことのない発音に触れることができ、とても良かったです。声を出させることを優先させてしまいがちですが、音のつながりや口の開け方をしっかり意識させることの大切さを再認識しました。今後の授業に活かしたいと思います。
- ・ 本日の講習は本当に有意義でした。今まで、正式に音声学の授業を受けたことがないので、いろいろな疑問が解決しました。時間があれば本当に大学で講義を受けたいと思っています。現実にはなかなか厳しく、退職後になることでしょうが…研修を受け、教育を受け、新しい情報を得ることは本当に大切なことだと感じました。いろいろヒントを頂いたので、これからゆっくりといろいろな分野を勉強して生徒に還元できたらと思います。
- ・ 午前中の講習では、音声が中心となるため、講師の先生がマイクを付けて説明や発音提示をしていただければ、もっと聞き取りやすかったのではと思います。設備のトラブルもありましたが、時間的に勿体なかったように感じます。逆に言うと、もっともっとたくさんの指導を頂きたかったということです。とても参考になり感謝しています。
- ・ 「発音」の講座では音のつながり等の法則がはっきりとわかり、勉強になりました。今までは何となく感覚で理解したつもりになっていた部分だったので、良かったです。「リスニング」も先生は、昨日に引き続きお話に引き込まれました。先生ご自身が研究に意欲的に打ち込んでいらっしゃる熱意がそこに感じられ、私自身も及ばずながら、少しでも見習いたいと思いました。魅力的でした！「音読」では、もっとまとまりと音声の例がほしかったです。
- ・ 発音に関しては、生徒に教える立場から、以前から大変興味がありながらもなかなか学ぶ機会がなかったので、今回は本当に勉強になりました。生徒に違いを尋ねられたとき、しっかり説明、実践できるように今後もさらに知識を深めたいと思います。音

読は、高校生の場合、学年が上がるにつれて、なかなか指導が難しいのですが、最近、音読の大切さをよく耳にします。今回もたくさんの教材のヒントをいただいたので、工夫して、音読にチャレンジしてみたいと思っています。今回の講習で、音読は読むだけでなく Oral interpretation だと実感しました。ありがとうございました。

- 2学期からすぐに利用できる教材を提示していただきありがとうございました。音声指導の大切さを改めて痛感しました。
- 2日間盛りだくさんで、楽しく刺激を頂きました。学校に持ち帰りすぐに現場で使えるものばかりでした。結局、教える教師が常にアンテナを張り、教材を見つけ工夫し、生徒に興味付けをしていかなければならないのだと思いました。「先生が楽しくなければ、生徒も楽しくない」そのとおりだと思います。
- 午前中の講習で、ここの音の違いや語と語の結びつきに起こる音の変化をきちんと説明していただき、大変ためになりました。系統立てて教えていただいでよくわかりました。普段の授業にも少しずつ還元したいです。午後の「講習も午前の部と関連づけられ、さらに実践的なもので今日の講習は音声指導についてまとまりがあり、充実していたと思います。
- 昨日と今日と2日間を通して受講させていただきました。今日の講義は自分自身の特に発音の力を向上させるために具体的な方法を教えていただいて、ずっと我流でやってきたものを見直すいい機会になりました。正直、この免許状更新講習は、「受けなければならない講習」だと思っていたのですが、ここで受講できてよかったです。とても役に立ちそうです。2日間ありがとうございました。
- 本当に一日があつという間に過ぎていきました。学習者の学習意欲を高めながら、理解しやすく心温まる講座が展開されました。本学の学生の方が羨ましいと感じました。次の機会がありましたら、研究授業等にまた参加させていただきたく思います。
- 惜しみなく資料を提供していただき、本当に感謝しています。先生方の受講生への「愛」を身に染みて感じた2日間でした。私も英語を教えることをもっと楽しもうと思います。ありがとうございました。
- 普段細かく指導していない発音分野ということで改めて勉強不足だと痛感し、私自身が大変勉強になりました。特に夫先生の講義は意味があつて明日からのモチベーションに繋がりました。できれば、(もう少し時間があれば)生徒の発音クリニック(学生の例がありました)どのように指導していけばよいのか、具体的なアドバイスがあれば、もっと参考になった気がします。
- 今後の指導に活かしていきたいです。音読指導の部分では日本語と英語を使って行くと生徒もしっかり分かりやすいだろうと思いました。
- 大変参考になりました。ありがとうございました。発音に関しては昔に勉強した内容を二十数年経って思い起こすことができ、もう一度初心に戻り新しい指導法を見直せる機会となりました。たくさんの資料、盛りだくさんのアイデア、知識、本当にありがとうございました。
- 今日有意義な講習を準備していただきありがとうございました。貴学の学生は熱心な教授陣の授業を受けることができ幸せだと思います。もし、もう一度大学に戻れるなら貴学で学びたい。3年生の生徒が進路相談に来たときに、英語を学びたい生徒には貴学を薦めますが躊躇があるケースも少なくないです。生徒が理由としてあげるの、共学で学びたいということが多いですが、授業内容の本質が理解できていないようにも思います。貴学の英語教育に対する真摯さを多くの受験生が理解してくれるよう願います。(本当の英語力を付けたいなら)
- 本日はありがとうございました。今日のすべての講習は今後の私の英語教師としての道を進む一助のものとなりました。現場で教えているだけでは、なかなかブラッシュアップをする機会がありません。大変参考になりました。
- 理論だけでなく、体験を通して学習できたことは、今後自分がどのように教えていくべきかの道標になりました。教科書を教える問題を解くだけでは英語の楽しさはつたわりません。音声で拓く英語指導は使える英語を身に付ける最適な方法だと思います。ありがとうございました。
- 多彩な内容、様々な視点・方法で発音リスニングそしてリーディング活動を考え直す機会をいただきありがとうございました。とても楽しく受講させていただきました。来年は聴講で受講させていただきたいと思いました。
- 3人の先生方の熱意が伝わるとても良い講座内容だった。大変勉強になった。頂いたプリント、冊子をもう一度見直し、しっかり身に付けたいと思う。
- 本日はありがとうございました。発音指導については、自分自身悩んでいたところが、すっきりと分かってとてもうれしかったです。生徒へ還元するために、しっかりとモデルができるよう、自分自身向上できるようにがんばります。今日も盛りだくさんで、どれも授業で工夫して使わせていただいけそうなアイデアばかりで感謝します。
- 2日間ありがとうございました。特に中井先生の講義は面白くてもっとたくさん学びたいと思いました。また機会があれば講義を受講させていただけたらと思います。午前中の発音の工夫と発音指導の方法では、今まで曖昧だった部分がクリアーになり、とても役に立つ内容でした。リスニングクリニックも生徒にどう指導していくポイントが明確になり良かったです。音読パフォーマンス

ンスは、今までの自分にはなかった引き出しをいただけたので今後活用していきたいと思います。

- 英語学習の基本をしっかりと学べた。発音など活動も多く、楽しく取り組めた。
- 午前中の講習は、発音練習ではなく、もう少し教えるということに focus されても良かったのでは。音読の講習は、実際の授業をどう運用するのが課題だと思う。
- 発音の大切さと難しさを改めて感じ、生徒に教えていく大切さを学びました。また、普段の授業でディクテーションをしたことがなかったので、これから意欲的に取り組みたいと思いました。音読パフォーマンスも大変楽しく取り組み、授業へ取り込みやすいものが紹介されていたと思います。また、英語を教えるということは、教師の視点一つでいろいろなアクティビティが満載でアイデアが大切だと感じました。
- 英語における音素の生成過程の仕組みがよくわかった。どうしても日本語にある似た音に置き換える傾向があるが、今日の英語の母音・子音について学んだことを活かして授業に取り組みたい。
- 発音は常に意識して取り組んでいるのですが、時々というか、しばしば不安になって電子辞書で5回も6回も同じ発音を確認したりしています。今日教えていただいた中で、「なるほど」と思える点がいくつかあったのでまとめておこうと思います。昨日に続いて今日も貴重な体験ができました。ありがとうございました。

